

科目名	公衆衛生看護活動論実習	前期	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	魚里 明子、小路 浩子、坂口 めぐみ、西原 翼、小坂 素子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		○
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域で生活している人々の実態に触れ、様々な健康レベル・ライフステージにある人々の健康課題を把握し、地域全体の課題としてとらえることができる。</li> <li>2. 地域で展開される保健師活動の実際をとおして、個人・家族・集団(組織)、地域全体を対象とする支援方法、支援技術を学び、保健師の機能や役割を理解することができる。</li> <li>3. 地域における社会資源とその活用について理解し、保健師による社会資源の開発について理解することができる。</li> <li>4. 地域の健康課題の解決に向けた保健師と他(多)職種・他(多)機関との連携との連携について理</li> </ol> <p>[授業概要]</p> <p>地域で生活しているさまざまな健康レベル・ライフステージにある対象(個人・家族・集団・組織・地域)の特性に合わせて展開される地域保健活動の実際に触れ、地域で生活する人々の実態や健康課題を把握するとともに、地域の人々の健康の保持増進に向けた取り組みや保健指導等の技術の基本を学び、公衆衛生看護活動に必要な実践能力を養う。また、個人・家族・集団(組織)のセルフケア能力を高める保健指導技術、他機関・他職種との連携、ケアマネジメント等の公衆衛生看護活動における保健師の機能と役割を理解する。保健師活動経験のある教員が臨地における実習指導担当保健師と協力・連携しながら、実習指導を行う。</p> <p>[準備学修(授業前後の主体的な学修)]</p> <p>実習に関連する授業内容を復習し理解して、事前学習を十分にしておいて実習に臨むこと。実習目的を明らかにし、記録は提出期限を守ること。日頃から住民生活に関係するニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習効果を上げるために、公衆衛生看護管理論実習と合わせて行う。</li> <li>2. 保健所およびその管轄する市町村または区からひとつの市町村あるいは区を担当し、実習する。</li> <li>3. 保健所が管轄する地域での組織や集団等、地域の多様な場で行う。</li> <li>4. 担当する保健所および管轄する地域において展開されている様々な健康レベル、ライフステージの保健・福祉事業に参加し、実習する。</li> <li>5. 保健所が管轄する地域で実施されている保健・福祉事業に関するオリエンテーションを受ける。</li> <li>6. 健康教育、家庭訪問、健康診査、健康相談などの事業を見学実習する。</li> <li>7. 地域で展開されている地域組織活動の場や自主グループなど地域の多様な場での実習を行う。</li> <li>8. 学生間で話し合った実習のまとめを実習地に提出、保健師からの助言を受け、学びを深める。</li> <li>9. 実習終了時のカンファレンスで、保健師の役割や関連職種との連携、地域ケアシステム等について学びを共有し、自己の課題を探索、レポートにまとめる。</li> </ol>				

科目名	公衆衛生看護活動論実習	前期	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	魚里 明子、小路 浩子、坂口 めぐみ、西原 翼、小坂 素子			
<p>[ 成績評価方法 ] 受講態度(10%)、実習評価(70%)、レポート(20%)により総合評価する</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 実習記録や課題へのフィードバックは、実習中の臨地または学内にて随時行う。課題レポートは、実習最終日に発表・共有の場を設け、教員からコメントする形でフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護1-1/(プロフェッショナリズム)生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:実習中のディスカッション、面談、実習記録および課題レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護1-2/(科学的根拠に基づいた課題対応能力)人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:実習中のディスカッション、面談、実習記録および課題レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護1-3/(人が病むことへの関心と理解)生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:実習中のディスカッション、面談、実習記録および課題レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護2-1/(人間性の涵養)多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法:実習中のディスカッション、面談、実習記録および課題レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護2-2/(看護の表現力)自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:実習中のディスカッション、面談、実習記録および課題レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護2-3/(倫理の実践と道徳的態度)看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:実習中のディスカッション、面談、実習記録および課題レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護3-1/(社会参加)社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していきける。 成績評価方法:実習中のディスカッション、面談、実習記録および課題レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護3-2/(協働・協力)保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していきける。 成績評価方法:実習中のディスカッション、面談、実習記録および課題レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実習態度、カンファレンスやディスカッションへの参加態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習態度、カンファレンスやディスカッションへの参加態度、課題レポート、実習記録</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:実習態度、カンファレンスへの参加態度、面談、実習記録、課題レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習態度、カンファレンスやディスカッションへの参加態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:実習態度、カンファレンスやディスカッションでの発言、実習記録、課題レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実習態度、カンファレンスやディスカッションでの発言、実習記録、課題レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実習態度、カンファレンスやディスカッションでの発言、実習記録、課題レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習態度、カンファレンスやディスカッションでの発言・態度、実習記録、課題レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 国民衛生の動向2020/2021 著者名:厚生労働統計協会 出版社:厚生労働統計協会</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>				

P11200430 [ NB4-004 ]

[4看]\*前期集中